

虹色の谷から 南川つうしん

第 21 号
発行 2009.12.25
南川福祉学園
小浜市深谷 10-1-4
☎ 0770-58-0408

どえりやあ 楽しかったぎゃー 勇斗君の修学旅行

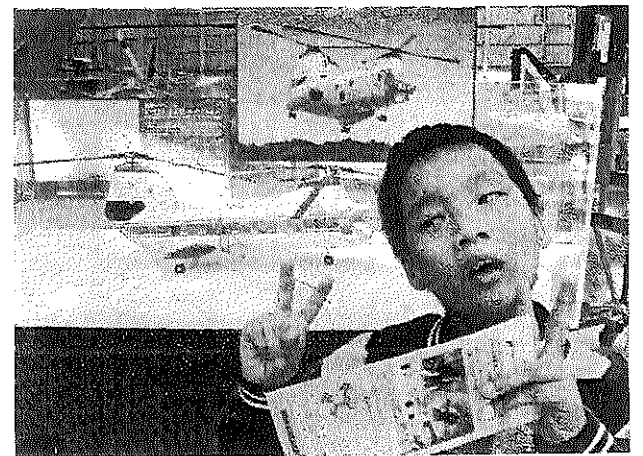


新型インフルエンザと台風で2回も延期になった修学旅行でしたが、十月十五日は快晴、絶好のお出かけ日和となりました。

一日目。最初に向かったのは名古屋科学館。行く前からパンフレットを持ち歩いていて、一番楽しみにしていたところです。中でもお目当ては消防車。ホースの出し入れを楽しんでいましたが、「ウーがこわかったの」大きなサイレンにびくつき！でした。続いて名古屋港水族館。ここでの思い出は「イルカ」「しっぽでボールをポイッとしたの」とみんなに教えてくれました。

二日目は、各務ヶ原航空宇宙博物館。「ヘリコプターとんどう」で「おみやげにもヘリコプターを買って、今一番の宝物になっています。良かったね。」

この文は同行された担任の山田



航空宇宙博物館にて、ピース！

先生に執筆していただきました。ちなみに「どえりやあ」とは、名古屋の方言で、ものすごいという意味合いです。

だのしく！
お出かけをしよう

施設の外へ出て、買物や食事、レクリエーション等の体験をすることは、各人に去来する種々の思いがあるにせよ、総じて楽しく、素敵なことに違いありません。

学園における、お出かけ事情がどうなっているのか審らかにしてみましよう。

まず、お出かけの形式には、行事や園外活動、自立訓練、余暇活動等があります。それぞれの目的に沿った形で、計画され、実施さ

れることとなります。

別表には、

この秋の外出回数、延べ人数で掲示しています。数字にばらつきがあることがわかります。九月は文化祭前であり、園外活動を控え、作品制作に時間を費やしました。十月は行楽に最適な季節というところで、最も多くなっています。十一月は少なくなっていますが、気候や天候、周囲の新型インフルエンザの流行に大きく左右された影響があります。

こうした外出以外にも、5人の学齢児は日々、嶺南西養護学校へ通学していますし、3人はおおいワークセンターへ職場実習に出掛けています。

また、保護者との連携において、週末帰省がなされているケースもありますので、数値的にはこれ以上のものになります。！学園としては、現況に甘んじる

	行事	園外活動	自立訓練 体力作り	余暇活動	合計	平均の 外出数
9月	14	0	34	37	85	2,93
10月	28	22	45	37	132	4,55
11月	6	6	7	28	47	1,62

ことなく、その人のライフステージに合った、その人らしさを醸成できるところでのお出かけに力点を置いて、利用者の希望がかなえられるよう取り組む所存です。

(岩)

まぐろ線6
Ogawa City ②

はまかせ通商店街

小浜の玄関口とも言えるこの商店街は、昭和と平成が入り混じったレトロモダンな佇まいで、訪れた人をどこか懐かしい気持ちにさせてくれます。

以前は連日のように歩行に行き商店街の方との交流を楽しんだりしました。

この商店街では、日頃から障害者の書道作品を店舗内で展示したり、つい先日「やさしさいっぱい！まちなか夢通り」という福祉のイベントを行うなど、福祉に対する貢献度も大です。

ここ数年で空き店舗も増え、寂しくなりましたが、活性化を目指していろいろ頑張っている姿は、僕等の姿とも重なります。

そんな訳で、今後の期待度も込めて、ぼくら目線の素敵度☆☆☆☆☆ ということではいかがでしょうか。

(田)